

鶴城中だより

責 巧
校長 津 野
No. 9

スマホ依存に注意

5歳児の7割が使用

12月9日の熊日新聞を読み、標題の記事に驚いた人も多かろう。就学前の子どもをやすために、ゲームをさせたり、動画を見せたりする「スマホ子守」の実態だという。

今年7月に、山鹿中の使用率は、5歳児が学校区(2幼稚園、9保育園、4小学校、1中学校)の全家庭(調査をし、回答が6割の1696世帯からあったようだ。結果は、携帯・スマホ

71%、小学生33%、中学生が47%。子守のための道具や手段にスマホが利用されていることに驚く。これは、山鹿中学校区だけでなく、本校区でも同様で

あろう。幼い子どもたちが「スマホ依存症」の症候群になっているかもしれない。

もう、「おかあさんといっしょ」の世代ではなくなったのだからか。あのテレビ番組には、教育的な中身が多く入っていたように思うのだが…。

昨年の内閣府の調査によれば、高校生のスマホの平均利用時間は一日2.6時間、10人に一人は5時間以上の利用といった結果が報告された。程度を超えた利用は学力低下や体調不良、トラブル経験の増加といった事態に陥る可能性があるが、その改

善が求められている。

KDDI研究所は、中高生が自律的に適切なスマホの利用を実現させるために、「勉強うながしホーム」というアプリを開発したという。『学習意欲』までもがスマホを利用する時代が来たのかと驚く。

一方、スマホ等を通じた犯罪被害者の数(10〜17歳)は、ついに1500人に達しようとしている。子どもたちの将来、命を守るためにも、我が子の現状を、今一度確認しておく必要はないだろうか。

晩秋の古都

二年生は、12月7〜9日晩秋の京都と奈良に修学旅行に行きました。

行きの新幹線では、周りの乗客に迷惑をかけてしまい、この先どうなるものかと心配しました。

最初の見学地は、阪神大震災後に建設された「人と防災未来センター」でした。『神戸では、地震によって大変なことが起きていくようです。』というテレビ放送が流れつづ

け、ヘリコプターの映像により、変わり果て黒煙を上げる神戸市の映像を食い入るようにして見たことを覚えています。そして、5年前の東日本大震災と今年の熊本地震。三つの出来事がひとつになつてよみがえります。

決して阪神大震災はよそ事ではなかったことが今になってわかりました。二つめは、枯山水で有名な龍安寺。一週間前に来ていれば、どんなにすごい紅葉が見られたかなと少



し残念。

佐伯先生が座っているこの場所からは15個の石がす



べて見えることを発見しました。金閣寺(鹿苑寺)では、夕日に照らされ、金箔が

一層鮮やかに輝いていました。二日目は、四つの班に分かれて自主活動をしました。バスに乗るのも初めてという生徒もいたようで、京都の人の優しさに触れた一日だったようです。



最終日は、東大寺へ。大仏(盧舎那仏)の大きさにびっくり。



薬師寺では、東塔は工事のため見ることができませんでした。国宝の薬師三尊像などを見学できました。世界最古の木造建築として知られる法隆寺では



釈迦三尊像や玉虫厨子、百済観音などを見学できました。(いずれも国宝)

楽しく、思い出に残る三日間でした。この旅行での体験を活かし、二年生は、今後鶴城中の中心となって頑張っていきます。

清き一票を

平成29年の鶴城中生徒会役員選挙が、16日にあります。

今年、選挙権が18歳に引き下げられました。山鹿市長と市議会議員の選挙が来年二月にありまます。この選挙には間に合いませんが、いずれ本場の選挙をすることになります。選挙とはどういうものを学ぶいい機会です。

立候補(被選挙)者と推薦者の連呼が早朝から聞こえてきます。

